

令和元年度第2回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

1 日時及び会場

- 令和元年10月16日(水) 14:05 ~ 15:00
- 広島港湾振興事務所大会議室(広島市南区宇品海岸二丁目23-53)

2 出席者

- 委員16名出席(1名欠席)

3 議事要旨

(1) 協議会の進行

- 令和元年度第1回協議会の議事概要の確認
- 廃棄物の受入実績等について
- 処分場の維持管理状況等について
- 周辺環境の調査結果について
- 地域振興策について

(2) 発言要旨

【令和元年度第1回協議会の議事概要の確認】

- ・ 恵下埋立地の建設の件で、広島市の焼却灰を4月から搬入するということが
だが、搬入時期を早めることは可能か。
→ 出島処分場への搬入は、恵下埋立地の建設工事の進捗状況も見ながら、
4月開始とさせてもらっている。今後の恵下埋立地の建設の進捗状況によ
り、考えさせていただきたい。

【廃棄物の受入実績等について】

- ・ 災害廃棄物の処理は今年の12月で終わると言われているが、それは県全体
における災害廃棄物の処理が全部終わるという意味か。
→ そうである。廃棄物の処理計画を市町も含めて作っており、本年12月を
目標に計画している。坂町及び呉市からの搬入が多い状況だが、坂町につ
いては県が廃棄物処理の事務を受託しており、ほぼ処理は終えている。ま
だ呉市には災害廃棄物が大量にあるので、調整を行っているところだが、
12月までに終える目標である。
- ・ ここでいう建設残土は、災害土砂ではないのか。
→ 災害土砂ではなく、県が行っている水道トンネル工事から発生するもの
である。
- ・ 出島第3工区へ搬入されているものではないのか。
→ 災害発生土砂については、出島第3工区で受入れている。7月豪雨災害
のときに発生した土砂の処理はほぼ年内に片が付く状況だが、災害関係の
復旧工事関係の土砂は、今後まだ出てくるので、3工区で受入を進める。

【処分場の維持管理状況等について】

(意見なし)

【周辺環境の調査結果について】

(意見なし)

【地域振興策について】

(意見なし)

【議事終了後の意見について】

- ・ 地域振興策について意見が出ているが、前回の協議会議事録だけだと意見の紹介に終わっている。県として意見に対する意思表示があれば、議論が深まるのではないかと
→ 前回の協議会で意見をいただき、県の方でも、県内又は他県において、港周辺で整備されている施設や、住民の方々が行政の支援を受けて実施する取組などの調査をさせていただいている。スピード感の問題があるのかもしれないが、そのままにしている訳ではないので、御理解いただきたい。
- ・ 出島処分場の受入は10年で終了するという確認書があるが、これをどうするのかということについて、協議議題に上げる時期のタイミングを計ってもらいたい。
→ 出島処分場の廃棄物受入時期が半分を過ぎたことは重く受け止めている。現在、これまでの実績を整理するというのはもちろんだが、新規開拓できないかということも実施している。この辺りをしっかり詰めた上で、どういう形で皆様に話をさせていただくのがいいのかも含めて、また相談させていただきたい。
- ・ 元宇品において、以前、大潮の際に台風が来て、マンションのエレベーターの中に水が入ってきて怖い思いをしたことがある。一商業権だけのことで護岸が作れないのはどうなのかと疑問に思っており、地域振興策で検討していただけないか。
→ 明確に答える材料を持っていないが、関係部門で情報共有をして、できることがあれば対応させていただきたい。
- ・ 去年の豪雨災害で瀬野川に土砂が溜まっており、今の状態で雨が来た場合、すぐに溢れてしまう。このような河川の底に溜まった土砂を出島処分場に搬入すれば、あっという間に埋まってしまうのではないかと思う。
→ 県としては、現在、河川の浚渫について優先順位をつけながら順番にやっているところであるため、瀬野川についても予定はあると思われる。
なお、浚渫工事に伴う土砂については出島第3工区に搬入している。

※ 担当事務局

広島県環境県民局産業廃棄物対策課
TEL : 082-513-2964 (ダイヤルイン)